

# 生産者と販売者が語るフェアトレードの背景

## 5月フェアトレード月間にセミナーを開催

国際協力機構(JICA)は、5月12日(日)にフェアトレードの活性化を目指す市民向けセミナーを開催します。

フェアトレード全国意識調査<sup>1</sup>によると日本全国での認知率29.3%に対し、近畿地方は25.1%と低くなっています。持続可能な開発目標(SDGs)で掲げられたゴール1「貧困をなくそう」や、ゴール2「飢餓をゼロに」といったゴールの達成には、消費者の関心の高まりが欠かせません。

本セミナーは、フェアトレード月間に合わせ「フェアトレード」をテーマとして、日々の生活消費でのフェアトレードの向き合い方を考える機会を提供し、消費者市民の行動の後押しを目的としています。(1)フェアトレードの目的である貧困削減の映画上映と監督トークセッション、(2)販売者と参加者を交えてフェアトレードの在り方を考える意見交換と生産団体からのメッセージ、(3)フェアトレード団体ブース出展、で構成し、フェアトレードを取り巻く環境を体験します。

セミナーへの取材を是非ご検討ください。

### 【セミナーの概要】

セミナー名	国際協力入門セミナー ものを通して「見える」よりよい社会
日時	2019年5月12日(日) 13:00-17:30
会場	JICA 関西 講堂
定員	200名(無料)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画上映「ブランカとギター弾き」&amp;長谷井監督トークセッション</li> <li>・販売者と参加者の意見交換&amp;フィリピン生産団体からのメッセージ</li> <li>・フェアトレード関連団体ブース出展</li> </ul>

※ 取材をご検討いただける場合、事前にご連絡ください。

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 市民参加協力課 那須田 (なすだ)

TEL 078-261-0384 e-mail : [Nasuda.Tomoo.2@jica.go.jp](mailto:Nasuda.Tomoo.2@jica.go.jp)

<sup>1</sup>一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムによる2015年度調査